

## 平成 24 年度 高専連携次世代シミュレーション技術者教育プロジェクト募集要項

豊橋技術科学大学 次世代シミュレーション技術者教育推進室

高専連携教育プログラム開発部会

### 1. 趣旨

本プロジェクトでは、本学が推進している高専連携教育研究プロジェクトの趣旨を踏襲し、今年度より本学が実施する「次世代シミュレーション技術者教育プログラムの開発」事業の一環として、広範囲な工学分野におけるシミュレーション技術者教育に必要な基礎教養や専門基礎などの教育充実への取り組みを支援する。

### 2. 申請条件

- (1) 本プロジェクトの趣旨に沿った提案課題であれば専門分野は問わない。例えば、ICT技術を使った教育プログラムの開発、可視化技術を活用したデジタル教材開発、本学-高専間で共通した講義や専門講習会などを実施するための遠隔地教育の技術実験なども含む。
- (2) 提案課題は本学教員が代表者となり、高専教員を共同研究者として申請すること。
- (3) 現在、高専連携プロジェクトに参画している教員も申請できる。
- (4) 配分された経費は本学教員が取りまとめて実施する。

### 3. 募集区分

- (1) 教育プログラム開発支援
  - ・高専教員と本学教員が連携・共同して行うシミュレーション技術者教育に関連する教育プログラムの開発を支援する。具体例としては、既に実施済みの、またはこれから実施（開発）する予定の講義・実習科目等で使用する資料を整備し、e-Learning教材を作成する。なお、来年度以降、e-Learning教材として利活用できること。
  - ・次のものを整備し、提出すること：①シラバス、②講義資料（PowerPoint形式）、③小テストと定期テスト（中間試験と期末試験）の問題と解答例（WORD形式）。
  - ・e-Learning教材への変換作業は本学で行うが、高専教員が自身で作成する計画も奨励する。
  - ・上記資料の作成経費（参考書や開発用アプリケーションなど）、および検討のための打ち合わせ会議費（会議のための旅費や会議室利用料）、学会発表旅費等を計上できる。
  - ・経費配分額は1高専あたり50万円程度。
- (2) 教育教材開発支援
  - ・高専教員と本学教員が連携・共同して行うシミュレーション技術者教育に適した教材（シミュレーション・アプリケーションや可視化ソフトウェアなど）の開発を支援する。なお、来年度以降、教材として利活用できること。

- ・次のものを整備し、提出すること：①プログラム本体（実行形式、ソースコード、またはその両方）、②マニュアル（WORD形式）、③補助教材（実習手順書のようなもの。準備可能な場合）。
- ・教材開発やマニュアル作成等に必要な経費（参考書や開発アプリケーションなど）、および検討のための打ち合わせ会議費（会議のための旅費や会議室利用料）、学会発表旅費を計上できる。
- ・経費配分額は1高専あたり50万円程度。

### (3) その他

- ・高専教員と本学教員が連携・共同して行うシミュレーション技術者教育に関して、上記(1)、(2)のいずれにも該当しない新しい発想の取り組みを支援する。
- ・適切な範囲で必要な経費等を計上できる。経費配分額は未定。

## 4. 採択予定金額

予定金額 総額500万円程度、10件程度

## 5. 提出書類

計画書（K様式1）を提出すること。

## 6. 提出期限

計画書は随時受け付け審査する。ただし、平成24年11月末日を締め切りとする。

## 7. 提出先

豊橋技術科学大学教務課情報システム係（内線6548）